

8 予算特別委員会動議に対する反対討論

2012年3月19日

私は、予算特別委員会附帯決議（案）に反対する討論を行います。

本附帯決議案は、北朝鮮が日本人拉致事件について不誠実な態度をとり続けているなどとして、埼玉朝鮮初中級学校に対する運営費補助金交付に反対しております。

もちろん我が党は、北朝鮮の日本人拉致事件については世界の平和と人道に反する犯罪行為として厳しく糾弾し、その謝罪や一日も早い解決を求めるものですが、これらの問題について朝鮮学校で学ぶ子供たちには何らの責任もなく、子供たちに責任を負わせるようなことは、子供たちの人権侵害を助長しかねず、絶対にあってはならないこ

とです。それは教育の機会均等や民族、国籍などでの差別の排除という課題で、県議会の姿勢が根本から問われかねない問題であり、日本人拉致問題を重大な人権侵害として国際世論に訴えている本県の立場をも危うくするものです。

朝鮮学校には、朝鮮籍と韓国籍の生徒がほぼ半数ずつ在籍し、日本国籍の生徒も在籍しています。こうした学校を補助の対象から外すことは、合理的な理由に欠けるだけでなく、日本政府が1995年に批准した人種差別撤廃条約にも反する行為であり、到底認めることはできません。

よって、本附帯決議（案）に反対いたします。以上です。